

緑の風 FAX版



JR 東労組ホームページ

NO. 5 2020年7月10日 JR東労組

JR総連の仲間と共に、地域における 鉄道・地域交通体系を維持していこう！

JR総連は、7月8日に「新型コロナウイルス感染症拡大に伴うJR総連の課題について」として要望書をJR総連推薦議員懇談会・共同代表の増子参議院議員に提出しました。



コロナ禍において、鉄道運輸収入は大きく減少しています。JR北海道やJR貨物は発足当時から経営基盤が脆弱であり支援を受けている最中、コロナの影響を受けています。取り巻く状況が厳しさを増すなか、中長期的視点に立った政策を実行していくことが必要性となります。

コロナ収束の目途が立たず、不安を抱えている今、安心して働ける環境を目指して、JR総連に結集している仲間とともに、課題を解決していくために奮闘していきましょう！



要請書の主な内容

1. コロナ禍の減収への支援について
 - ①休校要請に基づく通学定期の払い戻し等による減収の補填
 - ②国からの借入金(無利子貸付支援)に対する返済猶予
 - ③高速道路無料化など、特定の交通モードのみが対象とならないよう鉄道需要につながる交通モード間のイールフティングの確保
 - ④Goto キャンペーンを活用した鉄道利用を主軸とした二次交通を含めた観光需要喚起策の推進
 - ⑤感染症拡大防止策への支援と公共交通としての安全性についての周知広報
2. JR北海道・JR貨物への支援について
 - ①2020年度で期限を迎える国鉄債務等処理法に基づく支援の継続
 - ②2020年度固定資産税、整備新幹線貸付料、本四架橋使用料等の免除
 - ③2020年新千歳空港使用料の免除
 - ④安全投資や修繕を計画的に実施し早急に安全運行体制を構築することができるよう十分な資金の確保に向けた必要な支援
 - ⑤青函トンネル・本四架橋や鉄道貨物の運行に伴う負担軽減に資する設備投資・大規模修繕などに対する支援
 - ⑥経営安定基金の機能維持・運転資金の確保
 - ⑦鉄道貨物輸送に伴う並行在来線の存続および既存の並行在来線を含む貨物調整金制度の財源確保